学校番号	３００２

令和８年度　農業科（資源動物科）

教科	農業	科目	畜　産	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「畜産」（実教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ

・授業では、課題に対して、自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行います。
・肉牛の特性に照らした合理的な飼育管理技術を習得しましょう。
・肉牛の飼育管理と生産性、生産物の品質向上およびアニマルウェルフェアとの関係を理解し、畜産業の抱える課題を主体的に解決する能力を身に付けましょう。
・経営の収益構や市場における価格形成、技術成績と収益の関係、畜産経営の現状とそれをとりまく環境について理解し、さまざまな観点から畜産経営を改善する方法を考えましょう。
・畜産の教科書､授業中のノートを２冊用意してください｡ノートについては板書を書き写すだけでは、不十分です。授業のポイントや自身で気付いたことなどを記入していきましょう。
・ノートや家庭学習における課題は、定期的に提出してもらいます。きちんと取り組みましょう。
・学習した知識や考え方を総合実習・課題研究で実際に生かせるよう積極的に取り組みましょう。

2　学習の到達目標

農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、家畜の飼育と畜産経営に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
【知識及び技術】
家畜の飼育と畜産経営について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
【思考力・判断力・表現力等】
家畜の飼育と畜産経営に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
家畜の飼育と畜産経営について生産性や品質の向上が経営発展へつながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	家畜の飼育と畜産経営について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	家畜の飼育と畜産経営に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決することができる。	家畜の飼育と畜産経営について生産性や品質の向上が経営発展へつながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組むことができる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	病気と経営	○ブタの病気と予防衛生 ○乳牛の病気と予防衛生 ○肉牛の病気と予防衛生	a. ブタや乳牛、肉牛の病気と予防衛生に関する知識を身に付けている。 b. 地域農業や学校農場の飼育実態に応じたブタや乳牛、肉牛の飼育計画や管理について考えることができる。 c. ブタや乳牛、肉牛の病気と予防衛生に関心をもち、意欲的に学習に取り組んでいる。	定期考査	ノート 課題 定期考査	ノート 課題 観察
	肉牛	○肉牛の特性 ○肉牛の品種と選び方 ○肉牛の施設・設備とその利用	a. 肉牛の基本的な特性について、正しく理解し、知識を身に付けている。 a. 肉牛の消化器官と消化･吸収について、特性を理解している。 a. 品種の選定や施設の利用など飼育計画に必要な技術を習得している。 b. 肉牛の飼育に関する科学的な見方と課題解決できる実践力、判断力を身に付けている。 c. 肉牛の特性に関心をもち、意欲的に学習に取り組んでいる。	定期考査	ノート 課題 定期考査	ノート 課題 観察
2学期	畜産と経営	○肉の流通 ○養豚、酪農の経営、現状 ○畜産経営の収益構造 ○価格の変動と畜産経営 ○技術成績と収益との関係 ○畜産経営をとりまく国際環境	a. 肉や乳の流通や畜産経営の収益構造を理解している。 a. 畜産経営は国際関係に大きく関係していることを理解している。 b. 利益増加について、どのような手段があるかを考えることができる。 c畜産経営の収益構造について関心をもつことができる。	定期考査	ノート 課題 定期考査	ノート 課題 観察

	肉牛	○肉牛の繁殖と育成	a. 肉牛の改良および繁殖に関する技術を習得している。 b. 肉牛の交配時期を的確に判断することができる。 c. 肉牛の繁殖に関心をもち、意欲的に学習に取り組んでいる。	定期考査	ノート 課題 定期考査	ノート 課題 観察
3学期	畜産と経営	○技術目標と経営計画 ○経営管理と経営支援システム ○フードシステムと流通販売の工夫	a. 畜産物の合理的で安全な生産および流通について理解している。 a. 畜産経営の目的である利益について理解し、収益と費用の内訳および収益構造についてまとめることができる。 b. 畜産経営の六次産業化について、新たな方策をみいだしレポートにまとめることができる。 c. 畜産経営の六次産業化について、興味をもち話し合うことができる。 c. 価格の変動、ピッグサイクルやビーフキャトルサイクルについて興味をもつことができる。	定期考査	ノート 課題 定期考査	ノート 課題 観察
	肉牛	○肉牛の肥育 ○生産物の流通と販売	a. 肉牛における飼育管理および飼料給与についての技術を習得している。 a. 肉牛の各生育段階の飼育に関する知識を身に付けている。 b. 地域農業や学校農場の飼育実態に応じた肉牛の飼育計画や管理について考えることができる。 c. 肉牛について、実践的な学習に意欲的に取り組んでいる。	定期考査	ノート 課題 定期考査	ノート 課題 観察

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度